

【試合結果】

男子決勝トーナメント 2回戦		SA - 6 - T
日時	平成19年8月22日(水)	16:10 ~
会場	山形市総合スポーツセンター SAコート	
結果	姪浜 福岡 44 6 . 11 10 . 11 17 . 15 11 . 21 OT	山形第六 山形 58
審判	主審 梅本 哲三	副審 久米 克弥

平成19年度 全国中学校体育大会
第37回全国中学校バスケットボール大会



【個人トータル表】

x = スターティングメンバー / = 出場選手 空欄 = 出場なし

姪 浜		福岡					
No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	古賀 弾	x	9	3	0	0	1
5	中尾 渉	/	3	0	1	1	3
6	貫 港平						
7	花田アマ-スイ真平	x	18	0	8	2	2
8	吉村 暢高	x	4	0	1	2	1
9	流田 和輝	x	6	0	3	0	3
10	南 俊太朗	x	4	0	2	0	4
11	村上 洸平						
12	古賀 大基						
13	井上 諒						
14	原 啓太						
15	浦田 祥平						
16	幡本 優生						
17	那須 舜亮						
18	浦田 康介						
C	鶴我 隆博						0
合計			44	3	15	5	14

3 P = 3 ポイントシュート 2 P = 2 ポイントシュート F T = フリースロー

山 形 第 六		山 形					
No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	熊澤 佑拏	x	4	0	1	2	0
5	高橋 貴大	x	10	0	5	0	2
6	佐藤 和樹	x	13	3	2	0	0
7	佐藤 完太	x	17	0	6	5	5
8	笹原 祐樹	x	11	0	4	3	2
9	古澤 祐介						
10	青山 陽平						
11	阿部 誠						
12	志貴 一仁	/	3	0	1	1	0
13	千葉 昂朔						
14	秋葉 真司						
15	武田 遼大						
16	八鉄 一斗						
17	東海林 燐						
18	川田 源貴						
C	植松 哲也						0
合計			58	3	19	11	9

【試合レポート】

姪浜中は2 - 2 - 1のオールコートプレスからマンツーマンDef、山形六中は3 - 2のハーフコートゾーンDefでスタート。姪浜中は# 10のリバウンドシュートや# 7のジャンプショット、山形六中は# 5、# 6のドライブインシュートや# 7のインサイドプレイでの得点と一進一退の攻防を見せる。山形六中11 - 6姪浜中のロースコアで1Qを終わる。

2 Qも両チーム1Qと同じDef。山形六中は# 4、# 6のドライブインシュートや# 5のドライブからパスを受けた# 8のゴール下シュートで突き放そうとするが、姪浜も# 9のゴール下シュート、# 4の3Pで追いつがる。22 - 16と山形六中6点リードで前半終了。

後半、姪浜中はDefを1 - 2 - 1 - 1のオールコートプレスから1 - 3 - 1のゾーンに変えてリズムを変える。そして、# 7の5連続ドライブインシュートで、3Q残り1分でついに31 - 31の同点に追いつく。ここで山形六中がタイムアウト。タイムアウト後、# 8のゴール下シュート、# 7のフリースローで4点リードし、37 - 33で3Qを終了する。

いよいよ勝負の4Q。姪浜中は1 - 3 - 1のゾーンDefで相手のリズムを崩しにかかる。Offでは# 4の3Pシュート、# 9のリバウンドシュートで必死に追いかける。しかし山形六中は落ち着いたプレイを見せ、# 7のジャンプシュート、# 6の3Pシュートでリズムを崩さない。姪浜中はタイムアウトを取り、# 4に3Pシュートを狙わせるが得点に結びつかない。結局、その後も落ち着いたプレイを見せた山形六中が58 - 44で姪浜中を振り切りベスト4進出を果たした。

両チームとも中学生とは思えないプレイを随所に見せて、最後まで息の詰まる好ゲームであった。改めて両チームの健闘を讃えたい。

記録者：丸藤 和男